



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日
東

上場会社名 株式会社BlueMeme 上場取引所
 コード番号 4069 URL <https://www.bluememe.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 松岡 真功
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岩川 隆幸 (TEL) 03-6712-8196
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,513	53.0	113	—	115	—	74	—
2025年3月期第3四半期	1,642	△8.8	△60	—	△63	—	△72	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 71百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △79百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	22.22	21.90
2025年3月期第3四半期	△21.06	—

(注) 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益に関しては、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,326	2,600	58.3
2025年3月期	3,899	2,537	64.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,522百万円 2025年3月期 2,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	40.5	150	379.9	150	627.0	100	—	29.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) 株式会社アルターデザインコ、除外 1社 (社名)
ンサルティング

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	3,617,946株	2025年3月期	3,603,946株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	278,781株	2025年3月期	220,942株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	3,348,644株	2025年3月期3Q	3,422,857株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には業績予想や将来の見通しに関する記載が含まれております。これらの記載は本資料の日付時点の情報に基づき作成しており、将来の結果や業績を保証するものではありません。これら将来の見通しに関する記載には様々なリスクや不確定要素が含まれております。このため、実際の業績等は、将来の見通しに関する記載によって明示的あるいは暗黙的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更に関する注記)	7
(四半期累計連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日~12月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇、米国の政策動向、中東情勢、金融資本市場の変動等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス産業においては、そのような状況の中においても、労働力の減少に対応する経営効率化や生産性向上はもとより、テクノロジーの活用により新たな価値や収益を生み出すデジタルビジネスの推進を狙いとするデジタル・トランスフォーメーション(以下「DX」という。)への需要は依然として強く、中でも将来の技術者減少や技術革新に対応するための情報システムの近代化、モダナイゼーションへの取組が活発であることから、IT投資の需要は引き続き堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループは「新たな価値を創造し、常識を変え、文化を進化させる」という企業理念のもと、ローコードによる自動化技術及び当社グループ独自のアジャイル開発方法論を活用した、情報システム開発の内製化を推進するサービスを提供することにより、日本企業の国際的競争力を向上させることをミッションとするDX事業を展開しております。

当社グループの事業は、ローコード技術とアジャイル手法を最大限に活かせる当社グループ独自の開発方法論である「AGILE-DX」を活用したコンサルティング・受託開発サービス及び技術者向けトレーニングの各サービスを提供する「プロフェッショナルサービス」と、ローコードプラットフォーム等ソフトウェア製品を販売する「ソフトウェアライセンス販売」から構成されております。「プロフェッショナルサービス」においては、「OutSystems®」を中心としたローコードプラットフォームを活用したコンサルティング及び受託開発の提供が引き続き順調に拡大する中、将来の需要拡大に備えた当社グループ従業員技術者の採用・育成及びサービスパートナーの確保に加え、サービス提供の効率化を促進するための研究開発にも注力いたしました。「ソフトウェアライセンス販売」においては、「プロフェッショナルサービス」の提供に伴う「OutSystems®」を中心とする当社グループ取扱製品の顧客への定着及び拡販に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,513,940千円(前年同四半期比53.0%増)、営業利益は113,643千円(前年同四半期は60,671千円の営業損失)、経常利益は115,443千円(前年同四半期は63,567千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は74,412千円(前年同四半期は72,083千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

また、セグメントの業績につきましては、当社グループはDX事業の単一セグメントのため記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、3,841,803千円となり、前連結会計年度末に比べ375,641千円増加いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が増加したことによるものであります。固定資産は484,333千円となり、前連結会計年度末に比べ50,793千円増加いたしました。これは主に投資有価証券の取得による増加であります。

この結果、総資産は4,326,137千円となり、前連結会計年度末に比べ426,435千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,652,988千円となり、前連結会計年度末に比べ390,112千円増加いたしました。これは主に買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は73,105千円となり、前連結会計年度末に比べ26,111千円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,726,093千円となり、前連結会計年度末に比べ364,000千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,600,043千円となり、前連結会計年度末に比べ62,434千円増加いたしました。これは主に自己株式の取得による減少があった一方、非支配株主持分の増加並びに親会社株

主に帰属する四半期純利益74,412千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.3%（前連結会計年度末は64.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績につきましては、2025年5月13日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,712,242	1,798,140
売掛金及び契約資産	1,538,731	1,869,913
仕掛品	35	12,807
その他	217,591	162,156
貸倒引当金	△2,439	△1,215
流動資産合計	3,466,162	3,841,803
固定資産		
有形固定資産	140,954	132,601
無形固定資産	31,381	24,304
投資その他の資産	261,203	327,427
固定資産合計	433,540	484,333
資産合計	3,899,702	4,326,137
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,080,018	1,372,334
短期借入金	22,626	10,008
未払法人税等	11,937	33,697
契約負債	54,497	50,724
資産除去債務	—	4,937
賞与引当金	5,600	2,909
受注損失引当金	4,685	1,342
その他	83,511	177,035
流動負債合計	1,262,876	1,652,988
固定負債		
長期借入金	42,145	20,818
資産除去債務	52,823	49,139
その他	4,247	3,147
固定負債合計	99,216	73,105
負債合計	1,362,092	1,726,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	973,832	974,707
資本剰余金	964,832	965,707
利益剰余金	899,856	974,268
自己株式	△316,100	△391,904
株主資本合計	2,522,421	2,522,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,818	△664
その他の包括利益累計額合計	△3,818	△664
非支配株主持分	19,006	77,928
純資産合計	2,537,609	2,600,043
負債純資産合計	3,899,702	4,326,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,642,566	2,513,940
売上原価	824,826	1,385,205
売上総利益	817,740	1,128,734
販売費及び一般管理費	878,412	1,015,090
営業利益又は営業損失(△)	△60,671	113,643
営業外収益		
受取利息	178	1,518
為替差益	2,752	233
公演料収入	3,878	—
その他	1,064	1,277
営業外収益合計	7,874	3,029
営業外費用		
支払利息	195	531
支払手数料	504	698
イベント関連支出	9,920	—
その他	150	—
営業外費用合計	10,770	1,229
経常利益又は経常損失(△)	△63,567	115,443
特別損失		
減損損失	—	※ 1,751
特別損失合計	—	1,751
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△63,567	113,692
法人税、住民税及び事業税	8,973	47,168
法人税等調整額	2,940	△1,539
法人税等合計	11,913	45,628
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△75,481	68,063
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,397	△6,348
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,083	74,412

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△75,481	68,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,104	3,153
その他の包括利益合計	△4,104	3,153
四半期包括利益	△79,586	71,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,188	77,565
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,397	△6,348

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更に関する注記)

2025年6月2日付で株式会社アルターデザインコンサルティングを新規に設立したため、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期累計連結損益計算書関係)

※減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
福岡県福岡市	事業用資産	建物	1,497
福岡県福岡市	事業用資産	工具器具及び備品	253
合計			1,751

当社グループは、事業用資産については管理会計上の区分に基づいてグルーピングを行っており、遊休資産及び処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

事業所の一部移転に伴い、処分予定となった当該資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該資産の回収可能価額は、売却が困難であることから、ゼロとして評価しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社グループの事業セグメントは、DX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社グループの事業セグメントは、DX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	17,031千円	18,366千円